

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	次呂久 成崇(立憲・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 離島振興策について</p> <p>(1) 竹富町は9つの有人島を抱え、通院、通学、買い物、行政手続など住民生活のほぼ全てを船舶交通に依存し、さらに燃油高騰に伴う燃油サーチャージにより離島住民は日常生活のための移動に追加負担を強いられている。県はこれまで離島住民の移動コスト負担の実態をどのように把握し、支援してきたのか伺う。</p> <p>(2) 沖縄県の離島物流は、本島から石垣、さらに西表島や波照間島へと多段階輸送となっており、全国でも類を見ない輸送構造となっており、食料品や建築・農業資材等の価格上昇が住民生活や産業活動に深刻な影響を与えている。県は二次・三次離島の物流コストの実態をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(3) 離島地域における担い手不足の現状認識について</p> <p>ア 県は離島地域における担い手不足をどのように分析・認識しているか伺う。</p> <p>イ 農業、漁業、医療、介護、教育、建設業等の各分野における人材不足の現状を伺う。</p> <p>ウ 本島との所得格差や生活コストの差についてどのように考えているか伺う。</p> <p>エ 担い手不足は個別分野の課題ではなく離島全体の共通課題である。今後10年程度を見据えた場合、離島地域の人材確保にどのような課題があると考えているか伺う。</p> <p>2 土木環境行政について</p> <p>(1) 離島廃棄物処理と放置パレット問題について、八重山圏域では物流由来の木製・樹脂製パレットが大量に滞留し、港湾周辺や事業所敷地で長期間放置される事例が発生している。これは景観悪化のみならず、火災や台風時の飛散、海洋流出など重大な環境問題にもつながる。県は放置パレット問題をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 竹富町内各港湾施設の整備について、施設の老朽化によるコンクリートの剥離や雨漏り等の不具合、塩害等の影響による浮き桟橋等の支柱等が劣化している状況について、施設の修繕及び整備状況について伺う。</p> <p>(3) 県管理の離島空港の合計利用者が昨年度過去最多を更新した。県は今後、石垣空港と宮古空港を拡張する方針のようだが詳細について伺う。</p> <p>(4) 県内離島における生コンクリート工場の設置状況及び休業状況、課題と対策について伺う。</p> <p>3 教育・福祉行政について</p> <p>(1) 離島介護の現状と課題について、西表島や鳩間島では訪問介護サービスの提供に長時間の移動を要するが、現行制度では移動時間が評価されていない。そのため「行けば行くほど赤字」という状況が発生している。県は離島介護の持続可能性についてどのような危機感を持っているか伺う。</p> <p>(2) 部活動における移動及び派遣の際の安全確保について、現状と課題、今後の対応について伺う。</p> <p>(3) バス通学費等支援事業について、支援実績と成果を伺う。</p>			

(4) 自衛隊による県立高校での勧誘活動状況について伺う。

4 農林水産行政について

(1) 竹富町や与那国町などの二次・三次離島では、飼料や肥料、農業・漁業資材等への価格が一次離島と比較して著しく高く、生産者の経営を圧迫している。県は二次・三次離島における生産コストの実態を把握しているか伺う。

(2) 中東情勢の緊迫化によるナフサ不足の農業資材への影響について伺う。

(3) 畜産廃棄物処理の現状と課題について伺う。

(4) 漁業従事者への物価高騰対策支援について伺う。

5 文化・観光スポーツ行政について

(1) 2034年に沖縄県で開催予定の国民スポーツ大会及び障がい者スポーツ大会に向けては、競技人口はもとより競技人口の拡大や障がい者スポーツの振興が重要である。各競技会場の整備事業計画と進捗について伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	17分	儀保 唯(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 環境行政について</p> <p>(1) 自然保護について</p> <p>ア 海洋保護区とは何か。</p> <p>イ 沖縄県で設定されている海洋保護区域はどこか。</p> <p>ウ 海洋保護区における生物多様性の保全に反する行為に対する規制はあるか。</p> <p>エ 生物多様性おきなわ戦略における海洋保護区の意義は何か。</p> <p>2 観光行政について</p> <p>(1) 観光振興について</p> <p>ア 令和8年4月1日に沖縄やんばるDMOが設立されたが、県は北部の観光の魅力は何にありと考えているか。</p> <p>イ 沖縄サステナブルツーリズム宣言にある「観光産業を活用して自然の再生にも取り組む」とは具体的にどういう内容か。</p> <p>3 子育て政策について</p> <p>(1) 産後ケア事業について</p> <p>ア 現在、41市町村のうち渡名喜村と粟国村のみ産後ケア事業が実施されていないが、その理由は何か。</p> <p>イ 産後ケア事業を委託されている事業者が市町村に報告する様式を統一することはできないか。そのために、産後ケアの利用回数、子どもの月齢、料金を一律にできないか。</p> <p>ウ 産後ケアを利用する際、市町村に申請に行くこと自体が困難であったり、申請しても利用開始までに数日かかるという課題に対する取組はあるか。</p> <p>(2) 妊産婦等生活援助事業について</p> <p>ア 令和8年度は、企画提案審査方式によって事業者が選定されているが、その評価基準は何か。</p> <p>イ 選定後は、各事業者ごとに評価基準の配点及び評価の結果を公表すべきではないか。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
3	17分	米須 清一郎 (ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 災害復旧及び防災対策について</p> <p>(1) 5月から続いた長雨や大雨による県内各地の被害状況と対策を伺う。</p> <p>(2) 白比川の拡幅工事について伺う。</p> <p>2 米軍基地から派生する問題について</p> <p>(1) 相次ぐ米兵犯罪について</p> <p>ア 米軍人・軍属の犯罪(凶悪犯、窃盗、不同意性犯罪、道交法違反等)の10年前と現在の検挙件数の推移とこれらの動向、検証を伺う。</p> <p>イ 米軍や防衛局は「綱紀粛正」や「実行性のある再発防止策」を声高に言うが一向に改善されない。犯罪が根絶されない課題をどう分析し対応していくか伺う。</p> <p>(2) 有機フッ素化合物(PFAS)汚染源特定のための米軍基地立入調査再申請について伺う。</p> <p>3 エネルギー政策について</p> <p>(1) 本県におけるクリーンエネルギーの導入状況を伺う。</p> <p>(2) クリーンエネルギー推進のための県の取組を伺う。</p> <p>4 沖縄科学技術大学院大学(OIST)について 沖縄の振興及び自立的発展に向け、OISTがどのように貢献しているか伺う。</p> <p>5 教育施策について</p> <p>(1) 沖縄県公立学校における働き方改革推進計画の取組状況を伺う。</p> <p>(2) メンタルヘルス対策について伺う。</p> <p>(3) 学びの充実について伺う。</p> <p>6 高齢者介護について</p> <p>(1) 事業所に対する物価高騰対策等の各種補助金の執行状況を伺う。</p> <p>(2) これら支援事業推進のための県の取組を伺う。</p>			

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
4	17分	渡久地 修 (日本共産党沖縄県議会議員団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 平和と基地問題について</p> <p>(1) イラン戦争への在沖海兵隊の出撃や自衛隊基地の増強、沖縄本島や先島へのミサイル配備など、「戦争に巻き込まれるのでは」との県民の不安が高まっている。再び沖縄を戦場にさせないということが県知事の最大の責務の一つと思うが認識を問う。</p> <p>(2) 米軍占領下で沖縄県民は命や財産が奪われ、人権も民主主義も地方自治も踏みにじられてきた。復帰しても、戦後81年たった今なお国土面積の僅か0.6%の沖縄に全国の米軍専用施設の70.3%が押しつけられ、米軍基地あるがゆえの事件・事故、犯罪、爆音、環境破壊に苦しめられ続けている。この異常な現状を戦後100年まで容認するのか。基地のない平和な沖縄への展望を示す時期ではないか。恒久平和に貢献する沖縄ビジョン(仮称)にも「基地のない平和な沖縄をめざす」ことを明記すべきではないか。</p> <p>(3) 嘉手納基地では合意も地元自治体の抗議も無視してパラシュート降下訓練が強行され続けている。嘉手納基地の撤去を求めることに踏み込むべきではないか。</p> <p>(4) デニー知事が行った辺野古埋立て不承認をめぐる裁判で、最高裁は実質的審理に入ること避け、一度も審理せず、入り口論で門前払いしたのではないか。</p> <p>(5) 辺野古新基地は完成する見込みは立たず政府は、普天間基地の返還時期を示すこともできずにいる。また米軍は、新基地が完成しても長い滑走路が確保できなければ普天間は返さないと言っていることに、地元宜野湾市をはじめ県民から怒りの声が上がっている。見解を問う。普天間基地の運用停止、閉鎖・撤去を強く求めていくべきである。</p> <p>(6) 那覇市内、特に首里の上空でも米軍機の爆音が激しくなっている。実態を問う。</p> <p>2 沖縄振興の方向性について</p> <p>(1) 振興予算等の本土還流から沖縄県内循環型の仕組みへの転換、そのための県民生活密着型の公共工事の推進、地場産業、地元企業を育成することが経済発展と雇用拡大につながると思うが見解を問う。</p> <p>(2) 教育、福祉、医療、防災を充実させることが、暮らしの向上と雇用の拡大につながると思うが見解を問う。</p> <p>(3) 米軍基地は沖縄経済発展の最大の障害要因である。米軍基地を返還させてこそ沖縄経済は発展する。那覇新都心、北谷町の返還跡地の経済発展状況と、普天間基地、嘉手納基地、キャンプ・シュワブの返還後の経済発展予測について問う。</p> <p>3 「誰一人取り残さない優しい沖縄社会」について</p> <p>(1) 故翁長雄志前知事が、「玉城デニーは沖縄の戦後史を象徴する人物」と語ったが、デニー知事の受け止めを問う。</p> <p>(2) 誰一人取り残さないという知事の思いと原点について問う。そして、それに基づくこれまでの施策展開と今後の政策的展開について問う。</p> <p>(3) 35人学級が全学年で実施されたが、成果について問う。現行の小1、2年の30人学級を1学年拡大するには教員は何人必要か。順次拡大すべきではないか。</p> <p>(4) 高齢者のバス・モノレール運賃の半額割引敬老パスの実証事業の進捗状況を問う。</p>			

- 4 物価高騰対策について、賃上げ・生産性向上緊急支援事業の申請状況について伺う。
- 5 御茶屋御殿の復元への取組の進捗状況について問う。
- 6 SNSでの誹謗中傷等の実態と対応について
 - (1) SNSで知事への事実に基づかない誹謗中傷などが散見される。県民や有権者の判断に影響を与えるゆゆしき問題だと思うが、見解と対応を問う。
 - (2) SNSで県の各種支援事業をかたった偽広告があるが、対応を問う。
- 7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	喜友名 智子(立憲・無所属の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県が実施した「中東情勢の緊迫化に伴う県内経済への影響に関する実態調査」の結果と対策について伺う。</p> <p>(2) 沖縄県南米駐在員事務所の開設に向けた準備状況について伺う。</p> <p>(3) 第8回世界のウチナーンチュ大会での初公開に向け、沖縄移民125年を記録する映画の製作が行われている。県はどのように関わるか。</p> <p>(4) 恒久平和に貢献する沖縄ビジョン(仮称)で示そうとしている、2045年の「戦後100年」の将来像について伺う。</p> <p>2 沖縄振興の在り方について</p> <p>(1) 愛知県でスタートアップ企業の創出・育成・オープンイノベーション促進を目的に整備された「STATION Ai」を会派視察した。愛知県では行政、大学、企業、金融が連携して新産業創出の拠点整備を進めている。沖縄県として、スタートアップ支援や「産学官金」連携をどのように進めていく考えか。</p> <p>(2) 新たな産業創出について、特に持続性のある地域経済や循環型経済を構築する観点からの県の方針を伺う。</p> <p>(3) 海洋漂着物の回収はボランティアに頼る部分がまだまだ大きい。雇用対策として取り組めないか伺う。</p> <p>3 暮らしを支える生活インフラについて</p> <p>(1) 次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)で、鉄軌道導入とバス路線の維持・再編にどう取り組もうとしているか伺う。</p> <p>(2) 住宅確保の問題は県内都市部、離島いずれでも大きな課題である。</p> <p>ア 現在の県営住宅の部屋数と待機数を伺う。</p> <p>イ 空き部屋数と入居希望者数を伺う。</p> <p>ウ 県営住宅の耐用年数、修繕費用の積立ではどうなっているか。</p> <p>エ 住宅確保要配慮者や子育て世帯、高齢者が安心して住み続けられる住宅政策について、県の考えを伺う。</p> <p>4 子ども・若者政策及び教育政策について</p> <p>(1) 若年妊産婦支援について県の取組を伺う。</p> <p>(2) 子どもの権利擁護第三者機関の設置について進捗を伺う。特に機関の独立性の担保について懸念の声があるが、県の認識を伺う。</p> <p>(3) 教員のメンタルヘルス対策について今年度の県の取組を伺う。</p>			

5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
6	17分	瑞慶覧 長風 (沖縄社会大衆党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県土全体の魅力・活力の向上へ、東海岸地域の振興は県政の重要課題だと考えるが、知事の決意と今後の具体策を伺う。</p> <p>(2) 首里城正殿の再建が進む中、知事を会長とする組踊上演300周年記念事業実行委員会においてこれまで進められてきた「組踊上演300周年記念碑」建立の実現も望まれている。首里城公園内への記念碑建立に関する県の協力について見解を伺う。</p> <p>(3) パラオ共和国とのMOUや韓国済州特別自治道との友好協力都市協定をはじめ、沖縄県が各地域と結んでいる協定等に係る交流施策の実績と今後の取組を伺う。</p> <p>(4) 沖縄県においては大規模災害を想定した総合防災訓練を実施しているが、災害規模の想定や災害対応に係る課題、市町村及び関係機関との連携について伺う。</p> <p>2 持続可能な海洋共生社会の構築について</p> <p>(1) 県内海岸の漂着物等ごみの回収から処理に至る対応課題とその対策を伺う。</p> <p>(2) 神奈川県では日本で唯一のビーチクリーン専門団体である「かながわ海岸美化財団」が1991年に設立されており、行政の境界をまたぐ県全域の自然海岸清掃の実施主体として、直営清掃、委託清掃、ボランティア清掃支援の一元管理とともに情報発信や調査研究等を担い、企業や団体等と幅広いパートナーシップも結びながら効果的な海岸美化活動に取り組んでいる。沖縄県においても同様に、海岸管理者として全県的な海岸清掃に対応する海岸美化専門組織の設置による体制強化が必要だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) プラスチックごみによる海洋汚染は世界的な問題となっている。県内のプラスチックごみ削減に関する取組を伺う。</p> <p>3 スポーツ振興について</p> <p>(1) 2034年に沖縄県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて沖縄県スポーツ未来創造本部が設立されたが、目的並びに今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 同大会の競技会場及び練習会場となる施設・設備の整備に係る市町村への支援事業並びに、大会に向けた県有施設整備の方針を伺う。</p> <p>(3) 沖縄県総合運動公園の駐車場拡充について、整備方針を伺う。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和8年第2回沖縄県議会(定例会)

07月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	山里 将雄(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 多頭飼育崩壊の現状について

適正な飼養管理能力を超えた数の動物を飼育することによって飼育環境が崩壊する「多頭飼育崩壊」が問題となっている。名護市街地においても多頭飼育崩壊で近隣住民の生活環境が著しく阻害されている事例がある。2025年7月に沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例が施行され、多頭飼養の届出の義務化・罰則も規定されているが、次のことについて伺う。

- (1) 沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例第11条に基づく届出件数を伺う。
- (2) 現在、県内において保健所や動物愛護管理センターが把握している「多頭飼育崩壊」及びそれに準ずる苦情・相談は何件あるか。
- (3) 名護市の事例についてどのように把握し、対処しているか。

2 玉城知事の県政運営と課題について

(1) 首里城復元と沖縄のアイデンティティーの継承について

2019年の火災以降、国内外の支援により、今年ついに首里城正殿が復元完了の運びとなった。沖縄の歴史と誇り、戦後復興のシンボルである首里城の復元に向け、玉城知事はどのような思いで取り組んできたか伺う。また、この復元がこれからの沖縄のアイデンティティーや文化継承に果たす役割について知事の考えを伺う。

(2) 新時代沖縄の地域外交と今後の展望について

知事は「万国津梁の精神」を現代に置き換え、独自の地域外交を展開し、アジア諸国との経済・文化・平和交流を実直に重ねてきた。これは平和を希求する本県にとって大きな意義のある政策である。これまでの地域外交の具体的な成果と、今後、沖縄が果たすべき「平和の緩衝地帯」としての役割や展望について知事の考えを伺う。

(3) 世界のウチナーンチュネットワークと自立への道筋について

知事は世界のウチナーンチュとの交流などを通じ、国境を越えた強い絆を再確認し、沖縄の可能性を世界へと広げてこられた。今後は、この世界的なネットワークや人的な絆を、単なる交流にとどめず、沖縄の経済成長や世界への文化発信に結びつけ、自立した沖縄の未来を築いていくことが求められる。知事の考えを伺う。

(4) 観光産業の質の高付加価値化と経済振興について

コロナ禍で甚大な打撃を受けた本県観光だが、知事の一貫した事業者支援により、入域客数はコロナ前の水準へと力強く回復した。今後は、豊かな自然環境や地域文化を守りつつ、「質の向上と高付加価値化」への転換が求められる。これまでの観光行政の成果と、次代の沖縄経済の自立に向けた知事のビジョンを伺う。

(5) 離島振興と「美ら島」の環境保全について

「離島の振興なくして沖縄の発展はない」との信念の下、知事は離島住民の医療、教育、物流の負担軽減や各種格差の是正に尽力してきた。同時に、ヤンバルや西表島などの世界自然遺産をはじめ、豊かな自然を守る環境政策も力強く推進してきた。これまでの離島振興や環境政策の具体的な成果と、環境と経済が好循環する「持続可能な美ら島」の未来像について、知事の考えを伺う。

(6) 子どもの貧困対策と「子どもの幸せ最優先」社会の実現について

知事は就任当初から「子どもの幸せ最優先」を掲げ、子どもの貧困対策を強力に推進してきた。基金の拡充、無料塾や子どもの居場所づくり、就学援助の強化など、多くの

取組を実践してきたが、その成果をどのように自己評価しているか、また今後も沖縄が「子どもを誰よりも大切にする島」であり続けるために、何が必要か、まだ残る課題への取組を伺う。

(7) 過度な基地負担の軽減に向けた取組について

知事は就任以来、いかなる困難な状況に直面しても、県民の尊厳を守るため、過度な基地負担の軽減、そして辺野古に新基地は造らせないとこの民意の下、反対を貫いてきた。それは平和を希求する多くの県民の支えであった。基地問題解決に取り組んできたこれまでの振り返りの所感と決意を伺う。